

令和3年度第4回JSSR国際委員会 議事録

日時：令和3年10月21日(水)21時15分-22時15分

場所：web開催(Zoom ミーティング)

出席：伊東学（担当理事），中村雅也（委員長），石井賢，小澤浩司，川口善治，酒井大輔，高橋真治，高畑雅彦，玉井孝司，村上英樹，八木満，大和雄，千葉一裕（アドバイザー），松山幸弘（理事長、アドバイザー），波呂浩孝（アドバイザー），

欠席：宮城正行

議題

1 審議事項

SPINE20 Partner Society Advisory Board (PAB)の議長に関する打診について

中村委員長より、SPINE20 から JSSR へ PAB 議長就任への公式依頼が来ている点が説明され、諾否に関する議論が必要であることが提案された。玉井委員より、事前資料に沿った SPINE20 2021 年次総会の出席者数や出席国・SPINE20 の組織構造・SPINE20 PAB 議長に課される仕事内容に関する説明がされた。その後、委員間で SPINE20 に関する不明点等が議論された。主な論点は下記の通り。

- ① SPINE20 の目的：SPINE20 は政治家や Policy maker に対する公的なロビー活動を行う会である旨が説明された。
- ② 組織構造：設立 4 団体が優位性を持っている旨などが説明された。その中で PAB は Executive board と対をなす構造であることが説明された。
- ③ PAB 議長の仕事内容：PAB 議長は 3 年任期で交代である。議長やメンバーであることで特別な金銭支払いの義務などはない。議長は、PAB 内でのルール設定・新たな Society の加盟申請に関する諾否の決定権・年次総会での Speaker の推薦権などを有する。等が説明された。
- ④ PAB 議長を受諾した際の利点と欠点：利点は PAB 初代議長となることで JSSR の Presence が示せる点や JSSR に有利なルールが設定できる可能性がある点。欠点は膨大な仕事量に対する成果が見合わない可能性がある点が挙げられた。いずれも、今後 SPINE20 がさらに大きな組織に成長するかどうかによる。と、説明された。

以上の議論を行った後に、伊東理事・松山理事長より、JSSR としてインドネシアやインドで SPINE20 が開催される間は特に開催国とのつながりも無視できないため PAB の議長を受けの方針で理事会に報告する旨が提案され、全会一致で承認された。併せて、PAB 議長終了時に、JSSR に対して設立 4 団体に準じる優位性が認められるかを確認する事が提案され、承認された。